



SHIH CHIEN UNIVERSITY



台湾実践大学プレ留学研修旅行

2015. 7. 19(日)～7. 24(金)



事前学習テキスト

千葉県立市川昂高等学校

市川昂高校台湾研修旅行事前学習テキスト

年 組 氏名 _____

【基本データ】

正式名 中華民国
 首都 台北
 面積 約3万6000平方km（九州とほぼ同じ面積）
 人口 約2300万人
 言語 中国語、台湾語、客家語、台湾原住民語
 通貨 台湾元 [ドル]（1台湾元 = 3.99円：2015年6月現在）
 民族 漢民族、原住民
 宗教 仏教、道教、儒教、キリスト教など
 時差 1時間（日本より1時間遅れ）

【気候】

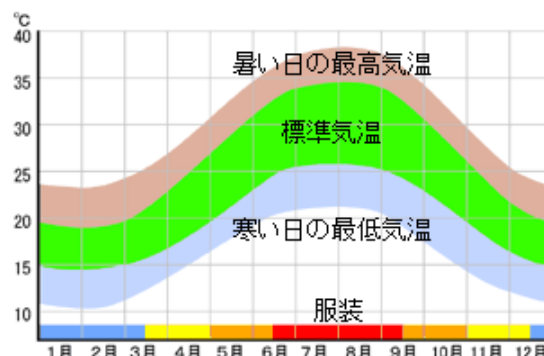
台湾は国の中央を北回帰線が通り、北半分が亜熱帯、南半分が熱帯です。偏西風と貿易風の境界域にあって、雲が発生しやすく、夏から秋には台風が来襲します。

台北は長い夏と短い冬があります。年間のおおまかな気温は、右図のようになります。

台北では年間を通して湿度は高めです。雨期はありませんが、12月から3月にかけては雨の日が多くなります。また、日本ほど明確ではありませんが、5月から6月ごろにかけて梅雨もあります。

8月から10月にかけては、台風が来襲することがあり、時には非常に強い台風に襲われることがあります。7月は、日中の気温も35℃近くになり、非常に暑いです。Tシャツ1枚で十分です。汗をかくので、着替えも多めに持って行きましょう。日傘を携帯していると便利です。

湿度が高くかなり暑いのですが、交通機関や施設内では冷房が効きすぎていることもあります。薄手のカーディガンなどがあるとよいでしょう。



【電気・水道】

台湾の一般的な商用電力は110V 60Hzで、コンセント形状は日本と同じです。このため、日本の家電製品の多くは、そのまま台湾でも使用できますが、以下の点に注意してください。

電気製品の銘板や取扱説明書に記載してある諸元（製品仕様）を確認してください。AC 定格入力が「100～115V」のように、110Vがその範囲内であれば、その電気製品はそのまま使用できます。ノートパソコンなどのACアダプタは、110Vが定格入力範囲内であることが多いようです。逆に、定格入力範囲外の場合や、わからない場合は、そのまま使用すると電気製品を破損したり、出火などの事故になる場合があるので、変圧トランスを使用することをお勧めします。

台北の水道水は衛生面の問題はありませんが、水質は日本と異なりますから、飲まないことをお勧めします。どうしても飲む場合は、煮沸してください。台北市内にはコンビニが多く、飲料水やミネラルウォーターが売られていますので、これらを利用すればよいでしょう。中級以上のホテルには無料の飲料水が置かれていることもあります。

なお、街角で売られているジュースの氷や、屋台のカキ氷などは、水道水がそのまま使われている場合があります。大抵の場合は問題ありませんが、胃腸の弱い方は、これらは避けた方が無難でしょう。

【言語・マナー】

台湾は小さな国ですが、複雑な歴史的経緯もあって、北京語、台湾語、客家語、原住民語など、様々な言葉が使われています。学校教育は北京語で行われているので、北京語であればどこでも通じます。ただし、日本で学ぶ中国語（中国の普通話）とは、発音、単語、慣用句などで、若干の違いがあります。

また、台湾の漢字は繁体字（日本の旧漢字に近い）を用いているので、中国の簡略化された簡体字とは異なり、日本人には馴染みやすい漢字となっています。なお、筆談では日本の漢字を書いても大方理解してもらえます。

コンビニやスーパーではレジ袋は有料です。

台湾は右側通行です。台北では交通マナーはかなりよくなりましたが、それでも街を歩くときは十分に注意してください。台湾でも南部に行くほど交通マナーは悪くなる傾向にあります。青信号で横断歩道を渡っていても突っ込んでくる右折左折の自動車があるので、左右をよく見ましょう。青信号だからと安心して、道路に飛び出すように横断歩道を渡るのは危険です。

【事故や犯罪被害に遭わないために】

台湾の治安はおおむね良好で、凶悪犯罪の発生は多くありません。軽犯罪についても、日本と同様の注意さえ払っていれば、被害に遭うことはまずないといえます。しかし、やはり犯罪が皆無というわけではないので、常識の範囲内での注意は必要です。

知り合ったばかりの人を学生寮の部屋に招いたり、知らないところについて行ったりする行為は、トラブルや犯罪被害の原因になります。友情や好意を装ってのだまし行為もあるので、常識のある行動をするようにしましょう。

また、街角や土産物店で声をかけられ、粗悪な商品を販売している店や、ぼったくり店に連れて行かれることもあります。無視していれば、つきまとわれることはまずありません。日本語で話をしていたり、日本語のガイドブックを持っていると声をかけられやすくなります。

夜市のような人込みでは、スリやひったくりが横行しています。携帯品には常に注意を払うようにしましょう。大金や貴重品を持ち歩かないことは常識です。クレジットカードやパスポートは、必ず番号やカード会社の連絡先を控えておくようにしましょう。バッグは首からかけるタイプで蓋がきちんとできるものがお勧めです。止め具が簡単に外れるウエストポーチや、蓋のないトートバッグなどは盗難に遭いやすいので厳禁です。



【健康管理】

6月から9月の台湾は非常に蒸し暑く、日差しも強いので、帽子や日傘が必要です。屋外を歩くときは日射病などの危険性もあります。コンビニなどで飲料水を買っておき、こまめに水分を補給しましょう。台北で夜市が盛んなのは、夜が涼しいという理由もあります。

グルメの台湾ですから、あれもこれも食べてみたくなるのは仕方ありませんが、どんどん食べていると、お腹を壊す原因になるので注意してください。また、屋台の食べ物は衛生状態が万全とは言えません。人気のある店で火を通したものを選ぶようにしてください。また冷たいものをとりすぎないように注意しましょう。

【歴史】

世界でも最も複雑な地域の一つである「台湾」。その歴史を知っておくと、台湾への旅行がもっと有意義になります。

1 19世紀まで

18世紀頃までの台湾は、中国本土の支配を受けた他、オランダやスペインの植民地であったりもしました。以前より、中国大陸から漢人が入植していましたが、清の時代になると、政府の政策もあり中国本土からの移住が一段と進みました。もともと台湾に居住していた先住民（台湾では原住民と呼びます）は10民族あまりですが、いずれも少数民族であるため、人口の大半は漢人が占めるようになりました。

台湾に渡った漢人の出身地は福建省が多く、福建地方の言葉が、現在は台湾語と呼ばれ、広く使われています。また、北方からの漂流民である客家人も台湾に移住してきましたが、客家語を話します。

清の時代には、台湾にもその支配が及びましたが、大陸政権は中華思想の政権であり、中央との距離は遠いほど文明度が低くなるという思想により、台湾は小さな僻地の島に過ぎず、十分な統治を行いませんでした。そのため、近世以前の台湾は、混沌とした状態が長く続きました。

2 日本統治時代

19世紀末、日本は日清戦争に勝利し、台湾の統治権を得ました。これ以後約50年間、台湾は日本の植民地となりました。日本の統治に対して、当初は台湾住民の抵抗が強く、約5年間続いた紛争では、1万人以上の台湾人が戦死もしくは虐殺されるなどしました。

台湾に対する日本の植民地政策は、植民地経営での欧米との対抗意識や、南進政策もあり、道路、鉄道、港湾、上下水道、電気、通信などのインフラの整備や、教育の普及、治安の維持に注力するもので、そのレベルは当時の日本本土を上回るものでした。

台湾人は二等国民とされ、日本人や朝鮮人らと差別されましたが、こうした植民地政策により、台湾の公共インフラや教育水準はこの時期に飛躍的に向上し、経済的にも発展しました。

日本統治時代は、台湾人の日本同化政策により、台湾での学校教育は日本語で行われたため、この時代に学校教育を受けた世代は、日本語を話すことができます。



3 太平洋戦争時

中国大陸では 1911 年に、現在の台湾のルーツとなる中華民国が成立しました。現在の台湾でも、この 1911 年を元年とする中華民国暦が用いられています。

太平洋戦争で敗戦した日本は、台湾の領有権を放棄し、戦勝国である中国（中華民国）がその領有権を得て、中華民国の台湾統治が始まりました。当時の中華民国は蒋介石が率いる国民党が代表政権でしたが、毛沢東率いる共産党との内戦に疲弊しており、台湾に進駐してきた国民党軍も統治意識が低く、略奪や粗暴行為が頻発しました。

台湾人は、統治が日本から中国に移ったことを喜びましたが、進駐してきた国民党軍のこのような振る舞いを見て、落胆しました。日本の旧植民地でありながら、現在、日本に対する国民感情が比較的良いのは、ここに起因すると言われることもあります。

国民党進駐前から台湾にいた漢人を「本省人」といい、これ以後大陸から渡来した漢人を「外省人」といいます。

4 蒋介石時代と国連脱退

共産党との内戦に敗残した国民党は、蒋介石ら多くの政治家、官僚、軍隊が台湾に逃れ、台北を臨時首都とし、中華民国の政権を形成しました。総統である蒋介石は、台湾の日本色を排除する政策をとりました。学校では大陸の言葉である北京語による教育になり、日本語は禁止され、また、学校教育は徹底した反日教材となりました。また政治的には、徐々に独裁色が強まり、強圧的な政権へとなっていきました。

こうした政策への反発を抑えるため、国民党政権は知識層を中心とした弾圧事件を相次いで起こし、次第に恐怖独裁的な政権となっていき、世界でも類を見ない 40 年以上続くことになる戒厳令が布告されるといった事態になりました。

そのような独裁色の濃い政権でしたが、一方で、戦勝国として国連安保理の常任理事国であった中華民国は、工業の発展や国際化により経済が飛躍的に発展し、国民の生活水準は次第に向上しました。

1970 年代になると、中国大陸では中国共産党の支配による治安維持が進み、国としての体裁が整ってきたこともあり、国連では、中華人民共和国を中国を代表する国家として承認することになりました。このとき、中華人民共和国、中華民国の双方とも、大陸と台湾は一つの中国という国家であると主張したため、中華民国は中国の中の台湾という地域を占拠している集団ということになりました。

中華民国は、このとき国連を脱退し、かわって、中華人民共和国がその地位に就きました。それ以来、台湾は、国際的には中国の一地方として位置付けられることになり、台湾問題は中国の内政問題という位置付けになりました。日本でも田中首相の時代に、中華人民共和国と国交を樹立し、同時に中華民国と断交しました。

中華民国の国連脱退後、多くの国は中華民国と断交しましたが、政治的、経済的に台湾とのパイプの維持を図りました。日台間でも、民間の機関という名目で、大使館の役割を担う組織が相互に置かれ、経済的、人的な交流が続いています



5 ～現代

政権が蒋介石の息子である蒋経国総統の頃になると、情報化社会や国民の所得水準の向上により、政府が国民の批判を押さえつけることは困難になりました。そして1987年に戒厳令が解除され、台湾の自由化が始まりました。

蒋経国の死後、副総統であった李登輝が自動的に総統に就任しました。李登輝は本省人でしたが、蒋経国の現実路線によって、さまざまな理由から副総統に就任していました。李登輝時代に自由化は一段と進み、議会が解散され、中华民国初の普通選挙も行われました。

一方経済的には、一時は外貨準備高が世界一になるなど、潤沢な資金を背景に、ハイテク産業を中心とした莫大な投資を行い、台湾で経済奇跡と呼ばれる経済発展を成し遂げました。

その後、総統直接選挙が行われ、野党民進党の陳水扁が総統となりましたが、2008年には再び国民党に政権が戻りました。現在では世界で最も自由な地域の一つとして、事実上の先進国になりました。

【この看板は何】



年 組 氏名 _____

台湾研修旅行事前学習アンケート

問 1 あなたが、この研修に参加した目的は何ですか。(問1~問5は該当する記号を○で囲みなさい)
A 経験のため B 中国語学習のため C 異文化理解のため D 海外大学を知る E その他

問 2 あなたは、だれにこの研修を勧められましたか。
A 保護者 B 教員 C 友人 D 知人(親戚等) E その他

問 3 あなたは、この研修で何を学びますか。
A 語学 B 異文化 C 海外大学の教育水準 D 人間関係 E その他

問 4 あなたの進路希望はどれですか。
A 4年制大学 B 短期大学 C 専門学校 D 就職 E その他

問 5 あなたが、台湾以外の研修地として希望するのはどこですか。
A アメリカ B ヨーロッパ C オセアニア D アジア E その他

問 6 あなたが将来行ってみたい(観光含む)国はどこですか。また、その理由も教えてください。

問 7 あなたが、市川昂に入学した理由は何ですか。

問 8 あなたが、これから市川昂で一番に取り組みたいことは何ですか。

問 9 あなたが、市川昂の今後の取組(国際交流、行事等)に期待することは何ですか。

問 10 あなたの将来の夢を教えてください。(どのようなプロセスでどうなりたい、どうしたいを詳しく書く)